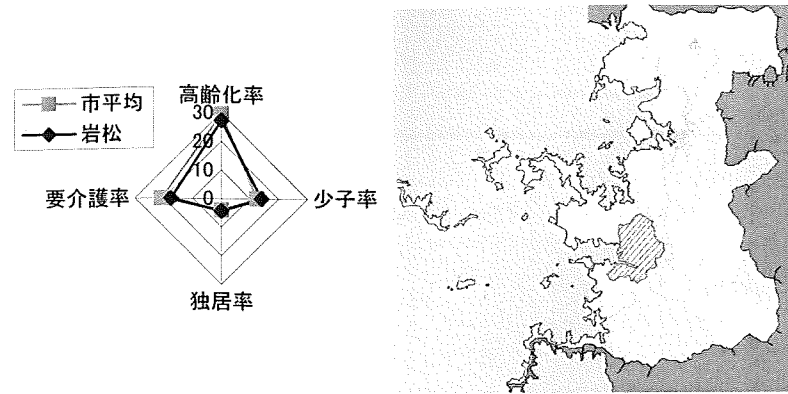


岩松地区

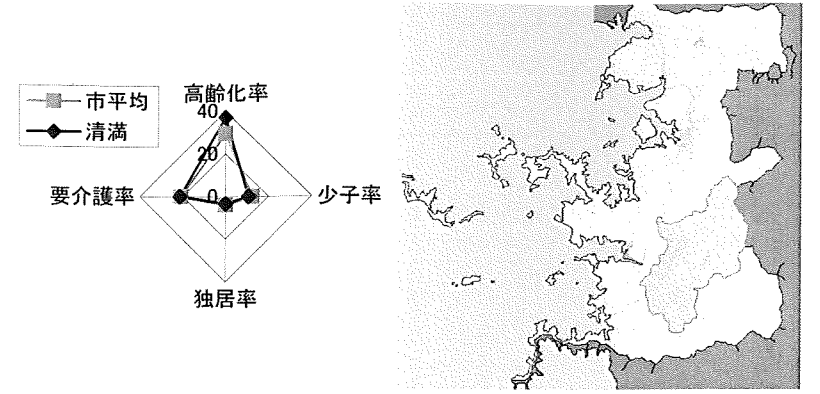
人口	4,041 人
世帯数	1,644 世帯
高齢化率	27.2 %
少子率	14.1 %
独居率	4.4 %
要介護率	17.5 %



岩松とは	宇和島市の南部、旧津島町の中心地。 古くから地域一帯の中心地として栄え、獅子文六の小説「てんやわんや」のモデル地。古い町並みが残り、保存活動や町づくり活動がなされ、今に文化を伝えている。		
歴史	明治23年、市制・町村制により、岩松、高田、近家の3村を合わせて津島村となる。 明治28年、岩松と高近(高田・近家)は分立。昭和13年、再び合併し岩松町となる。 昭和26年、玉ヶ月を編入し、人口5,800人を数えるまでになる。 昭和30年、岩松町・清満村・御槇村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。 平成17年、宇和島市と合併。		
地域組織	自治会数 40 地域組織 岩松地区社協 サポート隊夢のたまご 岩松町並み保存会	民生委員数 11 (主任児童委員含む) もやい運営委員会 とつぽ話今昔	
公共施設・生活施設	小学校 1 保育園 1 保健センター 勤労者体育センター 病院 8 消防署 1 コンビニ 3	中学校 1 幼稚園 1 公民館・集会所 22 津島やすらぎの里 郵便局 1 金融機関 3 岩松商店街	高校 1 障害者作業所 1 南レク・南楽園 介護事業所 5 駐在所 1 スーパー 2
地域活動	地区社協 配食サービス、サロン開催・支援、広報紙「ぬくもり」発行 など 公民館 野外清掃活動、花いっぱい運動、敬老会、ふれあい交流会 など その他 しらうお祭り、もやいの運営、自治会での親子日帰り旅行		
文化・郷土芸能・人物	文化財 高田八幡神社 大ウナギ など		
交通機関	宇和島バスが国道を中心に各地区を走っている。 将来、宇和島道路がやすらぎの里まで延長されれば、市内へのアクセスは格段と良くなる。		
現状	高齢化率は低く、少子率が高い地域であり、子育てボランティア等の活躍も目立つ。 近年まで独立した行政があったため病院、介護施設など公共機関が充実している。 岩松は宇和島地域福祉の先駆けとなる「もやい」があるが、今後この活動を継続させる体力をどう維持するかが課題。		

清満地区

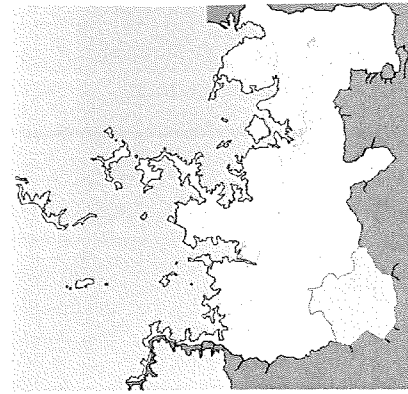
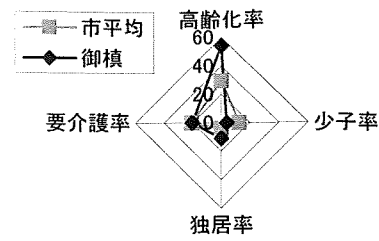
人口	2,267 人
世帯数	879 世帯
高齢化率	37 %
少子率	10.7 %
独居率	3.4 %
要介護率	21.2 %



清満とは	宇和島市の南部に位置し、岩松より御槇に通ずる沿道にある。 宇和島市の地区で最大の面積を誇る。 「増穂」「岩淵」「山財」の3地区からなる農村地帯で、総面積の80%以上が山林に覆われている。		
歴史	明治23年、市制・町村制により、増穂村、岩淵村、山財村、御内村、槇川村の5村を合わせて清満村となる。 明治32年、御内村、槇川村は分割し、御槇村となる。 昭和30年、岩松町・清満村・御槇村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。		
地域組織	自治会数 36 地域組織 清満地区社協 いきいきサロン(高齢者6、子育て1) 老人クラブ	民生委員数 7 (主任児童委員含む) まほろば(清掃) 清満見守り隊	
公共施設・生活施設	小学校 1 特別養護老人ホーム 金融機関 1 神田窯	幼稚園 1 郵便局 1 商店 6	公民館・集会所 14 駐在所 1 理容・美容 4
地域活動	地区社協 サロン推進、手をつなごう会だより発行 など 公民館 パソコン教室、虫送り、納涼大会、球技大会 など その他 10人組の助け合い活動		
文化・郷土芸能・人物	文化財 二重柿 七条のけさ その他仏像多数		
交通機関	鉄道、宇和島バス等の機関はなく、移動は車に頼る。 一部主要地域をコミュニティバスが走っており、高齢者にはありがたい。		
現状	地域の美化活動など、積極的住民参加活動が行われている一方、自主活動等が財政難から消滅する団体もある。 教育熱心で、地域ぐるみで学校行事等、子育て支援事業に積極的。		

御槇地区

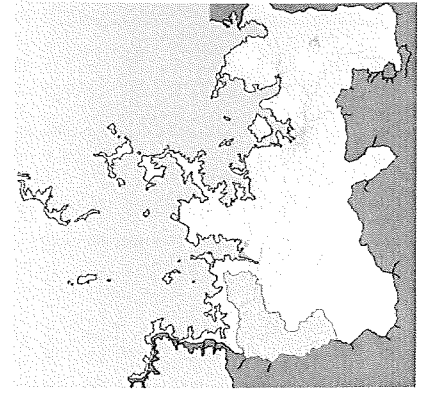
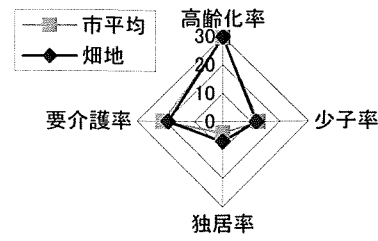
人口	429 人
世帯数	227 世帯
高齢化率	54.3 %
少子率	3.7 %
独居率	11 %
要介護率	20.2 %



御槇とは	宇和島市の最南端に位置し、東は高知県、南は愛南町に接する。 四方を1,000m級の篠山や大黒山に囲まれた農山村地域。		
歴史	明治23年、市制・町村制により、増穂村、岩淵村、山財村、御内村、槇川村の5村を合わせて清満村となる。 明治32年、御内村、槇川村が分割し、御槇村となる。 昭和30年、岩松町・清満村・御槇村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。		
地域組織	自治会数 12 地域組織 御槇地区社協 高齢者サロン 2	民生委員数 4 (主任児童委員含む) 老人クラブ お日切り様(お堂)	
公共施設・生活施設	小学校 1 金融機関 1 商店 2 祓川温泉	公民館・集会所 5 郵便局 1 移動販売車(週2)	みんなの家 理容・美容 1
地域活動	地区社協 サロン推進、広報紙の発行、悪徳商法被害防止活動 など 公民館 家庭教育講座、虫送り、篠相撲大会、芸能学級 など その他 地域の美化活動(年1回)、老人クラブ活動(保育園剪定 など)		
文化・郷土芸能・人物	文化財 サギソウ自生地 ゴウラ窯跡 古代遺跡 など		
交通機関	鉄道、宇和島バス等の機関はなく、移動は車に頼る。 一部主要地域をコミュニティバスが走っており、高齢者や学生が通院・通学に利用。		
現状	少子率が低く、保育園も閉鎖された。それに反比例するように高齢化が著しい。 公民館・老人クラブ活動が活発な反面、ボランティア活動は低迷。 人口が少ないためか、住民は協力的で積極的に活動されるが、独居や高齢者家庭が増え、自治会長や役員の成り手が限定される。		

畑地地区

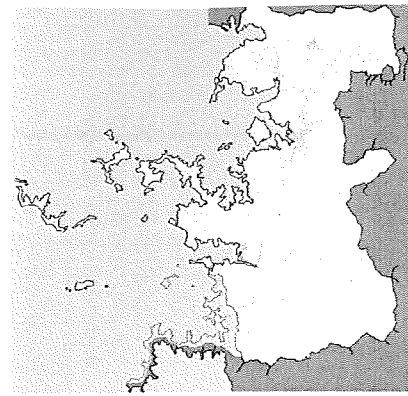
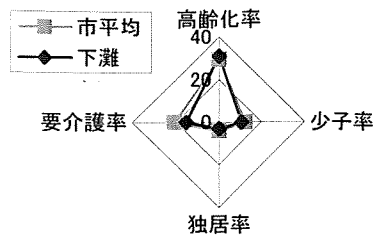
人口	1,152 人
世帯数	465 世帯
高齢化率	29.9 %
少子率	11.7 %
独居率	7 %
要介護率	19.2 %



畑地とは	宇和島市の最南端に位置する。 山林と水田を持つ農山村地帯で、比較的温暖のため農業に適した地。		
歴史	明治23年、市制・町村制により、上畑地村と下畑地村が統合し、畑地村となる。 昭和30年、岩松町・清満村・御槇村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。		
地域組織	自治会数 18 地域組織 畑地地区社協	民生委員数 7 (主任児童委員含む) 高齢者サロン 6	
公共施設・生活施設	小学校 1 花園(NPO) 郵便局 1 商店 3	幼稚園 1 駐在所 1	公民館・集会所 16 理容・美容 2
地域活動	地区社協 清掃活動、独居者宅訪問交流、安心見守り活動協力 など 公民館 運動会、農業祭り、輪投げ大会、消化避難訓練 など その他 生活学級(女性グループ活動)		
文化・郷土芸能・人物	文化財 ヤブツバキ(天然記念物) 六斎鉦保存会 五つ鹿踊り など		
交通機関	国道を宇和島バスが通る。(停留所5箇所) 国道付近の民家は比較的利便はよいが、山間部は一部コミュニティバスが走っているものの、市内へのアクセスは非常に悪い。		
現状	各種団体・伝統行事の後継者不足が深刻。 山間部では、近所の付き合いが深く、講組など助け合い活動が残っている。 隣近所の関係が希薄になっている地域では、地区社協を中心に、互助活動の活性化が試みられている。		

下灘地区

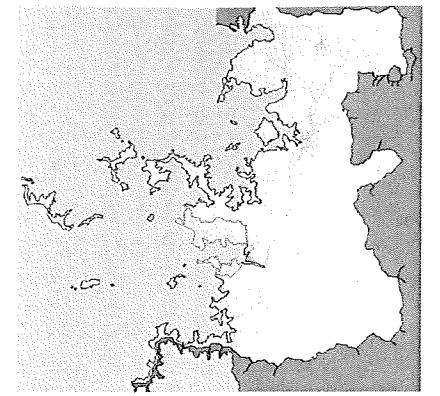
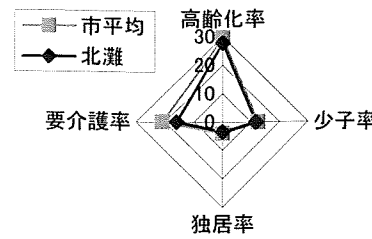
人口	2,644 人
世帯数	795 世帯
高齢化率	31.1 %
少子率	10.6 %
独居率	3 %
要介護率	15.3 %



下灘とは	宇和島市の最西南に位置し、南は愛南町に接する。 西は宇和海に面し、海岸線は深く入り組み、入り江に集落が形成される。 同地区内に7つの小学校があり、全国的にも珍しいのではないかと。		
歴史	明治11年、下灘村となり、明治23年、市制・町村制により、新たに村長を置いて村政を執行した。 昭和30年、岩松町・清満村・御楨村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。 鯛漁と桑、さつま芋、麦等を産する半農半漁の村であったが、昭和30年代以降、真珠養殖が盛んに行われた。		
地域組織	自治会数 21 地域組織 下灘地区社協	民生委員数 9 (主任児童委員含む) 高齢者サロン 12	
公共施設・生活施設	小学校 7 くつろぎの家 郵便局 1 金融機関 1	保育園 1 下灘漁協 駐在所 1 商店	公民館・集会所 21 理容・美容 2
地域活動	地区社協 公民館 その他	オープンデイの開催、バザーによる運営資金、防災学習会 など 和舟競漕、泥だんご作り、男性料理教室、郷土芸能学級 など ボランティア清掃・レクリエーション、ゴキブリ団子作り・配布	
文化・郷土芸能・人物	文化財	ソテツ(県天然記念物) 宇和海特殊海中資源群 由良神社裸まつり・和舟競漕	
交通機関	国道沿いは、宇和島バスとコミュニティバスがあり、便が良い。 宇和島バスが通らない地域は、コミュニティバスが補完しているが、半島部には停留所は無い。 半島部は幅員が狭く、急傾斜地で、国道に出るまでに車で20分以上は要する。		
現状	7つの小学校が点在するなど、集落が離れ、交通機関の悪さを表している。 公共機関や商店は、ほとんど嵐に集中し、車を持たない高齢者などは、移動販売車に頼らざるを得ない。 入り江に集落が形成されているため、津波などの被害が深刻。 近年認知症者が増加傾向で、近所による見守り体制が重要になっている。		

北灘地区

人口	2,276 人
世帯数	762 世帯
高齢化率	27.8 %
少子率	11.6 %
独居率	3.5 %
要介護率	15.9 %



北灘とは	宇和島市の西南の海岸に位置し、海を挟んで2つの陸地に分かれている。 西は足摺宇和海国立公園に面した90kmを有するリアス式海岸の一角を占める。		
歴史	戸長制時代は、岩松に役所が置かれていたが、明治13年、郷土係となり鶴ノ浜に移し、町村制により北灘村となった。 昭和30年、岩松町・清満村・御楨村・畑地村・下灘村・北灘村が合併し津島町となる。 日本でも有数の漁業資源に富んだ地域で、真珠を始めハマチ・鯛の養殖が盛ん。		
地域組織	自治会数 14 地域組織 北灘地区社協 交通安全協会北灘部会 光の天秤	民生委員数 8 (主任児童委員含む) 高齢者サロン 7 子育てネットワーク	
公共施設・生活施設	小学校 2 北灘漁協 金融機関	保育園 1 郵便局 1 商店	公民館・集会所 11 理容・美容 3
地域活動	地区社協 公民館 その他	ふれあい喫茶室、地域福祉講座、S型デイサービス など 交通茶屋、郷土芸能学級、輪投げ大会、運動会 など エアロビ、花植えボランティア など	
文化・郷土芸能・人物	文化財	綿津見神社夏祭り ペーロン競漕 北灘漁火太鼓	
交通機関	宇和島バスが、本数は少ないが20箇所の停留所があり、乗り降りはし易い。 勾配は少ないが、幅員は狭く、国道に出るまでに車で20分程要する。		
現状	海岸部の飛び地の集落でありながら、人口は2,000人を超え、高齢化率も低め、少子率も市の平均値。 1世帯家族数も比較的多く、昔ながらの家庭を残しながら、出生率も安定しているのかもしれない。 ただ、北部と南部では大きく違い、地域の格差・課題は違うと思われる。 地区社協は、住民の声に応え、宇和島市内でも特に先駆的活動を行っている。		